

一般社団法人和歌山青年会議所 2026年会員研修室 サマリー

会員研修室 担当副理事長 横本奈美子

| | | |
|-------|---|--|
| 現状分析 | <p>和歌山青年会議所のメンバーは、最盛期には 200 名以上在籍していましたが 2025 年現在会員数 134 名になり、減少傾向にあることは明らかです。2026 年卒業予定者は 16 名、2029 年までに少なくとも 38 名が卒業する見込みです。組織の仲間の減少は、地域を支える一助となる青年会議所運動の衰退にも繋がります。よって、私たちは明るい豊かな和歌山市の実現のため、青年会議所運動を構築し、地域を支える人財を発掘し続けなければならないのです。また、現在入会 3 年目以内のメンバーが 2025 年現在 57% を占めており、今後はこのアカデミーメンバーが組織の根幹を担うことから、地域を支えるリーダーとなるべく青年会議所運動を通じた育成が求められます。</p> | |
| 運動の目的 | <p>地域を支える一助となる青年会議所運動を構築する人財の発掘 まちの現状に向き合い、自ら考え行動し、まちと人を結ぶリーダーの育成</p> | |
| 事業計画 | 1 | 未来の担い手となるリーダーを創出する |
| | ・会員の拡大事業 | 次世代のリーダーを発掘するために、柔軟な発想を持った新たな視点で拡大活動を行うことで、多様な価値観を持った人財との出会いの機会を創出します。 |
| | KGI | 入会人数 30 名 |
| | KPI | <ul style="list-style-type: none"> — 候補者を 120 名集める — パートナー 20 社以上へチラシを配布し、拡大への協力依頼を行う |
| | パートナー | 和歌山市内企業、特別会員、日本 JC |
| | ・新入会員研修事業 | JAYCEE としての心得・リーダーシップの醸成を図るために、新入会員研修事業では主体性を持って研修事業に取り組むことで、当事者意識が芽生え未来を創造する人財へと昇華されます。 |
| | KGI | アンケートで 80% 以上が、今後の JC 活動に前向きに取り組みたいと思いましたと回答 |
| | KPI | <ul style="list-style-type: none"> — 新入会員と協力パートナーと 3 回協議を行う — 新入会員の 80% 以上が参加する — 新入会員が能動的に考えたアイデアを 1 つ以上実施する |
| | パートナー | 市民、和歌山市内の施設 |
| | ・わんぱく相撲の実施事業 | 地域の未来を担うリーダーとしての意識を高めるために、子どもたちの挑戦を支えるわんぱく相撲の運営に携わりまちとの結びつきを深めることで、人に向き合う大切さと共に成長する温かさに触れる中で、思いやる心と協調性の輪が広がります。 |
| | KGI | 参加者へのアンケートで 80% 以上が学べたと回答する |
| | KPI | <ul style="list-style-type: none"> — 委員会メンバーの 80% 以上が参加する — 50 社以上と協力する |
| | パートナー | 和歌山相撲連盟、行政、和歌山市内企業 |
| | ・紀州おどりへの参加事業 | 郷土への想いを深めるために、まちの伝統を守りながら紀州おどりへ参加をすることで、人々との交流を通じて歴史と共に歩む誇りとまちを想う心を育むきっかけとなりま |

| | |
|--------|---|
| | す。 |
| KGI | 参加者へのアンケートで 80%以上がチームワークの統制が取れたと回答 |
| KPI | <ul style="list-style-type: none"> — 2年目メンバーが 1人 1つ以上事業案を積極的に出す — 2年目メンバーの 100%が事業に出席する |
| パートナー | 行政、和歌山市内企業 <ul style="list-style-type: none"> ・卒業式の実施事業 |
| | これまで受け継いできた想いを次代へと繋げるために、卒業式での新たな門出を機に先輩方への深い敬意と感謝を体現することで、共に歩んだ仲間との絆を実感し、築いた信頼を力に新たな一步を踏み出します。 |
| KGI | 卒業生が 100%出席する |
| KPI | <ul style="list-style-type: none"> — 現役会員が 100%出席する — 事前案内 3回はする |
| 5 | アップデートする学びの機会を提供する |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・3月度例会の実施事業 |
| | 現役メンバーに対し会員拡大の重要性を再確認していただくために、会員拡大の意義を理解する例会を行うことで、会員拡大がメンバー一丸となって行われる運動となり、会員拡大の魅力を伝えられる人財となります。 |
| KGI | アンケートで 100%が拡大の必要性や意義を理解する |
| KPI | <ul style="list-style-type: none"> — 全メンバーの 70%以上が例会に出席する — アカデミーメンバーの 80%以上が出席する |
| | 各委員会へ 1回以上 PR を実施する |
| パートナー | 特別会員、日本JC |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・9月度例会の実施事業 |
| | まちや人に与える影響と責任を自覚するために、青年経済人としての基本的な立ち居振る舞いや心構えを学ぶ例会を実施することで、自らの在り方を見つめ直し、信頼されるリーダーとしての姿勢を養われます。 |
| KGI | 参加者へのアンケートで 80%以上が必要な知識や心構えを学べたと回答 |
| KPI | <ul style="list-style-type: none"> — 現役会員が 80%以上出席する — 各委員会へ 2回以上 PR を実施する |
| パートナー | 講師 |
| チームワーク | <ul style="list-style-type: none"> ・同室の事業は積極的に手伝う ・全事業に室メンバーの 60%以上が参加する |